

=美術館=

1 美術館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。

(1) 観覧者数等

ア 常設展示室

(単位：人)

	小中生	高大生	一般	有料 観覧者数	無料 観覧者数	合計	開館 日数	1日 平均
個人	182	140	5,179	5,501	6,369	13,595	279日	49
団体・割引	47	21	1,657	1,725				
合計	229	161	6,836	7,226				

イ 一般展示室

利用団体の別	展覧会の件数	観覧者数(人)	展示日数(日)	1日平均(人)
一般	29	20,177	117	172
美術館主催共催	7	18,656	131	142
合計	36	38,833	248	157

ウ 会議室

利用団体の別	利用件数	利用者数(人)
一般	431	3,070
美術館主催	7	217
合計	438	3,287

(2) 所蔵品の充実

ア 荻須作品の購入

作品名	制作年	種別
ポスターの壁	1930年	油彩
鍵屋	1966年	油彩

イ 荻須作品の受託

区分	作品名	制作年	種別
継続	タルト・オ・ポムとブリオッシュ	1934年	油彩
継続	ジュッシュ広場の“ヴァン・タバ・リキュール”	1935年	油彩
継続	ノルヴァン通り	1937年頃	油彩
継続	パサージュ・ドウ・モールの煙突	1938年	油彩
継続	赤と白の芍薬	1946年頃	油彩
継続	ウールックの煙草屋、パリ	1953年	油彩
新規	リュウ・シャルルマーニュ	1954年	油彩
継続	ジェノヴァ	1955年	油彩
継続	プールジュの八百屋 “アモラ”	1955年	油彩
継続	ヴェネツィア、ミゼリコルディア パノラマ	1957年	油彩

区 分	作 品 名	制作年	区 分
継 続	サン＝チュルバン	1959年	油 彩
継 続	食料品店 “アンドレ”	1961年	油 彩
継 続	ルーアン、メゾン・ア・コロンバージュ	1961年	油 彩
新 規	運河の平底船	1966年	油 彩
継 続	レストラン “ア・ラ・グリーユ”	1978年	油 彩
継 続	プレ・サン・ジェルヴェ	1979年	油 彩
継 続	ヴェネツィア、スカルツィ橋	調査中	油 彩
継 続	ヴェネツィア、大運河、ゴンドラ	1960年代	水 彩
新 規	サン・ドニ大聖堂	1949年頃	水 彩
新 規	アニック城	1952年	水 彩

2 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。

(1) 特別展 市政 65 周年開館 40 周年記念特別展 長谷川潔展

－京都国立近代美術館コレクション－

ア 展覧会事業

概 要	長谷川潔(1891-1980)は荻須高德と同時期にパリに滞在し、フランス文化勲章を受章するなど高い評価を受けた版画家である。東海三県初出品となる京都国立近代美術館のコレクションからその画業を紹介した。
会 期	10月28日(土)～12月10日(日) (38日間、開会式を除く)
会 場	一般展示室Ⅰ・Ⅱ
観 覧 料	一 般 1,000円(800円) 高・大生 800円(640円) 小・中生 100円(80円) ※ ()内は20名以上の団体料金・割引料金
観覧者数	4,944人(1日平均130人)

イ 展覧会関連事業

(ア) 講演会

演 題	銅版画家 長谷川潔 人と作品
期 日	11月3日(金・祝) 午後1時30分～3時
会 場	会議室
講 師	猿渡紀代子 (美術史家)
参加者数	30人

(イ) ギャラリートーク

期 日	11月5日(日) 午後1時30分～2時 11月23日(木・祝) 午前10時30分～11時
会 場	常設展示室、一般展示室Ⅰ・Ⅱ
内 容	当館学芸員が展覧会の見どころを解説する。
参加者数	計54人

(ウ) 子ども美術講座

講座名	銅版画でクリスマス
期 日	11月12日(日)・11月19日(日)午後1時30分～3時30分 (両日ともに同一内容)
会 場	会議室
講 師	奥田美樹 (アーティスト)
内 容	銅版画技法を用いてクリスマスカードを制作した。
参加者数	計28人

(2) 常設展 市政65周年開館40周年記念 荻須高德展 画業の変遷を辿る

—新収蔵品と主要展覧会出品作を中心に—

概 要	荻須高德(1901-1986)の画業の節目となる、初期(1920～30年代)、中期(1950年代)、後期(1970年代)に開催された3つの主要な展覧会出品作から、時代ごとの表現の変遷を辿った。
会 期	10月28日(土)～12月10日(日) (38日間、開会式を除く)
会 場	常設展示室
観 覧 料	一 般 310円(240円) 高・大生 210円(160円) 小・中生 50円(40円) ※ ()内は20名以上の団体料金・割引料金
観覧者数	6,049人(1日平均159人)

(3) 企画展

1)磯野宏夫展 —生命輝く森—

ア 展覧会事業

概 要	磯野宏夫(1945-2013)は稲沢市で生まれ育ち、全国的に活躍した画家・イラストレーターである。「森とそこに暮らす生き物たちの共生」をテーマに自然の雄大な美しさ、自然破壊への危機感を表現した作品世界を紹介した。
会 期	7月1日(土)～8月20日(日) (41日間、開会式、臨時休館日を除く)
会 場	一般展示室Ⅰ・Ⅱ
観 覧 料	一 般 800円(640円) 高・大生 600円(480円) 小・中生 100円(80円) ※ ()内は20名以上の団体料金・割引料金
観覧者数	4,492人(1日平均110人)

イ 展覧会関連事業

(ア) 講演会

演 題	磯野宏夫の世界
期 日	7月17日(月・祝) 午後1時30分～3時
会 場	会議室
講 師	杉山一三 (建築家)
参加者数	30人

(イ) 講演会

演 題	熱帯雨林の世界：生き物たちが織りなすネットワーク
期 日	8月11日(金・祝) 午後1時30分～3時
会 場	会議室
講 師	湯本貴和 (京都大学名誉教授)
参加者数	30人

(ウ) 子ども美術講座

講 座 名	点々で動物うちわを作ろう！
期 日	7月23日(日)・7月30日(日) 午前10時～正午・午後2時～午後4時 (両日ともに同一内容)
会 場	会議室
講 師	大崎智仁 (造形作家)
内 容	点描で自分だけの森とそこに住む動物を透明のアクリルうちわに描く
参加者数	計56人

2) 市政65周年・開館40周年記念第60回稲沢市民展

概 要	日本画、洋画、写真、書、工芸美術の5部門で作品を募集。優秀作品を表彰。
応募点数	一般応募144点 (※無鑑査、運営委員作品を含めて164点)
表彰点数	愛知県教育委員会賞はじめ35点
会 期	第Ⅰ部 (日本画・洋画・写真) 10月3日(火)～10月9日(月) (7日間) 第Ⅱ部 (書・工芸美術) 10月11日(水)～10月15日(日) (5日間)
会 場	一般展示室Ⅰ・Ⅱ
入場者数	2,396人 (一日平均200人)

3) 第44回絵になる町児童生徒絵画展

概 要	荻須画伯の「絵になる町づくり」提言を契機として、写生を通じて稲沢の町を再発見し、郷土を愛する心を育むことを目的に小中学生の作品を募集。優秀作品を表彰。
応募点数	小学生646点、中学生196点 計842点
表彰点数	入賞54点、入選196点 計250点
会 期	1月4日(木)～1月14日(日) (9日間)
会 場	一般展示室Ⅰ・Ⅱ
入場者数	1,861人

(4) 講座

ア 親子美術講座

講座名	アートスタート「えほんとおそび」
期 日	6月15日(木)午前10時30分～11時30分
会 場	会議室
講 師	奥田美樹 (アーティスト)
内 容	色彩や手触りを通して絵本の世界を親子で楽しむ。
参加者数	7組14人

(5) ギャラリートーク

常設展ギャラリートーク

期 日	5月3日(水・祝)午前10時30分～11時・午後2時～2時30分
会 場	常設展示室
内 容	展示替えに伴い、学芸員が常設展示室の荻須作品を解説した。
参加者数	計24人

(6) 鑑賞教育 (稲沢郷土学習)

内 容	学校教育課、市内小学校23校との連携により、平成20年度から開始した事業。児童が作品鑑賞を通じて美術に親しみ、鑑賞マナーを身につける機会を提供する。当館学芸員が荻須の紹介と作品解説などを行う。
期 間	10月31日(火)～12月6日(水)(この内11日間)
対 象	市内小学校6年生
受入人数	1,285人(引率教職員を含む)
配付資料	特別展の見どころを紹介した子ども鑑賞プログラム(A4判8頁)を鑑賞ガイドとして小学校6年生に配付した。 また、学習指導の手引き(案)を各小学校へ配付し、来館前に事前学習するよう依頼した。

(7) 美術館大学パートナーシップ事業

ア 「常設展」・「特別展」観覧状況

名古屋文理大学		愛知文教女子短期大学		合 計
学 生	教職員	学 生	教職員	
213 人	30 人	120 人	4 人	367 人

イ 連携事業

(ア) 名古屋文理大学

- ・情報メディア学部情報メディア学科の学生が、市政 65 周年・開館 40 周年記念第 60 回稲沢市民展のポスターデザインを行った。
- ・特別展にあわせて連携講座を行った。

講 座 名	稲沢市文化振興財団出張演奏会「アート&コンサート」
期 日	11 月 23 日(木・祝)午後 1 時 30 分～3 時 10 分
会 場	名古屋文理大学、荻須記念美術館
内 容	トークとミニコンサートを楽しんだ後、特別展の作品を解説付きで鑑賞。
講 師	栗林芳彦(名古屋文理大学教授)、当館学芸員
演 奏	伊藤真理子(ピアノ)
協 力	一般財団法人稲沢市文化振興財団
参加者数	29 人

3 美術館資料及び展覧会に関する解説書、図録等を作成し頒布すること。

(1) 図録等の作成

名 称	印刷部数(部)
令和 4 年度 美術館年報	150
特別展 長谷川潔展 目録	5,000
特別展 子ども用パンフレット	11,500
特別展 子ども鑑賞プログラム(鑑賞教育用)	1,400

(2) 頒布

名 称	単 価(円)	販売部数(部)
絵葉書 A(油彩画、8 枚 1 組)	500	78
絵葉書 B(水彩画、8 枚 1 組)	500	65
絵葉書 C(油彩画・リトグラフ、8 枚 1 組)	500	90
絵葉書 D(油彩画、8 枚 1 組)	500	120
生誕 120 年記念荻須高德展グッズ 絵葉書	150	504
稲沢市荻須記念美術館所蔵品図録 荻須高德作品集 (R2)	1,200	104
絵画による同窓会展 図録 (H2)	1,000	0
黒田清輝と藤島武二展 図録 (H5)	1,000	3
エコール・ド・パリの異邦人 図録 (H10)	1,000	4
開館 20 周年記念マリー・ローランサン展 図録 (H15)	1,000	2
楽しい版画展 図録 (H17)	1,000	14

三都の女展	図録 (H19)	1,000	13
彫刻 高田博厚展	図録 (H22)	1,000	3
日本画家が描いた西洋風景展	図録 (H25)	1,000	14
小磯良平展	図録 (H26)	1,700	10
パリに生きる パリを描く	図録 (H28)	1,500	29
山形美術館の名品と荻須が見たパリ画壇	図録 (H30)	2,000	3
牛島憲之展 府中市美術館コレクション	図録 (R2)	1,700	1
長谷川潔展	図録 (R5)	2,000	283
生誕 120 年記念荻須高德展グッズ	一筆箋	440	210
クリアファイル		300	141
マグネット付しおり		300	28
ノート		300	53
ブロックメモ		550	31
付箋		300	13
生誕 120 年記念荻須高德展グッズ	ポスター	550	105

4 美術館の管理運営に関すること。

美術館の運営等に関する審議

名 称	開催回数
稲沢市美術館協議会	2
稲沢市美術館美術品収集委員会	1

